

公共事業継続箇所評価調査

(様式5)

評価確定日(令和7年 9月30日)

事業コード	R7-建-継-05	区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方道路交付金事業(改築)	部局課室名	建設部 道路課
事業種別	二次改築(現道拡幅)	チーム名	道路建設チーム (tel)018-860-2492
路線名等	主要地方道 秋田八郎潟線	担当課長名	道路課長 石川 康樹
箇所名	秋田市山内	担当者名	チームリーダー 高野 健一
プランとの 関連	戦 略	生活環境	
	目指す姿	安らげる生活基盤の創出	
	施策の方向性	安全・安心を支える生活道路の整備	

1. 事業の概要

事業期間	H28 ~ R13 (16年)	総事業費	22.0 億円	国庫補助率	0.59	
事業規模	○延長L=1,500m、幅員W=6.0(8.5)m (1.25+3.0+3.0+1.25)m					
事業の立案 に至る背景	○主要地方道秋田八郎潟線は、秋田市手形を起点に、仁別、南秋田郡五城目町を経て八郎潟町の国道7号に至る全長48.5kmの主要幹線道路であり、秋田市街地での都市骨格道路や生活道路としての機能を有する。また、起点から秋田市仁別までは四季を通じて余暇活動のできる自然観光拠点へのアクセス道路として重要な路線となっている。 当該区間の車道幅員は狭く、急カーブも連続しているほか、急勾配区間も存在しており、車両の安全な走行に支障を来している。また、秋田市のハザードマップにおいて当該工区の一部が浸水想定区域となっているほか、起点側の松原橋は老朽化が進んでいるため、早期に整備を実施する必要がある。					
事業目的	○現道拡幅整備による安全で円滑な交通の確保 ・線形改良及び幅員の確保による車両等通行の快適性・安全性向上 ・法面からの雪崩対策、旭川の浸水対策など防災面の機能強化 ・老朽橋対策					
事業費内訳 (単位:千円)			前回評価	今回評価	増 減	理 由 等
	事 業 費	1,430,000	2,200,000	770,000		
	経 費					
	内 訳	工 事 費	1,074,500	1,748,000	678,500	機材物価等の上昇に伴う増 法面危険箇所の対策に伴う擁壁 工等の追加による増
		用 補 費	187,500	207,000	19,500	補償費精査による増
		そ の 他	168,000	245,000	77,000	法面危険箇所の設計費用の増
	内 訳	国庫補助	843,700	1,298,000	454,300	
		県 債	527,700	811,800	284,100	
	そ の 他	0	0	0		
	一 般 財 源	58,600	90,200	31,600		
事 業 内 容	調査・設計 改良工 舗装工 橋梁工	調査・設計 改良工 舗装工 橋梁工				
事業の進捗 状況	○令和6年度末で事業進捗率20%(用地進捗率は100%)					
事業推進上 の課題	○特になし					
関連する計 画等	○第14次秋田市総合計画					
情勢の変化 及び長期継 続の理由	○特になし					
事業効果把 握の手法及 び効果	指 標 名	県管理道路における道路改築率(年度)				
	指 標 式	改築率(県管理道路改築済延長/県管理道路実延長)				
	指標の種類	● 成果指標 ○ 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無		
	目 標 値 a	52.2%(R7末)	データ等の出典	県調べ		
	実 績 値 b	52.2%(R6末)				
	達成率 b/a	100.0%	把握の時期	令和7年4月		

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容 (特記事項)	評 価 点
必 要 性	○車道幅員が5.5mと狭く、曲線半径が100m未満の急カーブが連続している。さらには縦断勾配が6.9%の急勾配区間も存在していて、視距不足による旅行速度の低下等車両の安全な通行に支障を来している。 ○防災点検による要対策法面が存在し、雪崩による通行規制も発生していることから、道路整備により冬期の車両の安全な通行を確保する必要がある。	11点
緊 急 性	○第7次秋田市総合都市計画マスタープランの中で太平山リゾート公園等へのアクセス向上を進めることとしており、早急な県道の整備促進を図る。 ○当該工区起点側以南及び終点側以北は整備済みとなっており、一連の効果を発揮するために早期に事業化する必要がある。 ○起点側の松原橋は昭和42年の架橋から50年以上が経過し、橋脚躯体の劣化、基礎の洗掘等が進んでいるため、早急に対策を取る必要がある。	15点
有 効 性	○秋田大学医学部付属病院へのアクセスが改善され、救命救急体制の強化が期待できる。 ○秋田市水害ハザードマップにおいて浸水想定区域となっており、旭川の流量が220m ³ /s (1/20年確率)まで増加した場合に道路の一部区間が冠水するため、早急に整備を行う必要がある。	30点
効 率 性	○事業の費用便益比は1.23であり、効率性は高い。 ・総便益の現在価値 25.6億円 ・総費用の現在価値 20.8億円 ○他工区からの盛土材の流用によりコスト縮減を図っている。	19点
熟 度	○令和6年度末の事業進捗率は20%である (用地進捗率は100%)。	16点
判 定	ランク (●I ○II ○III) 緊急性、有効性が高く、事業は引き続き実施すべきである。	91点
総合評価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止 事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

他工区の建設発生土を盛土材に使用する等コスト縮減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

公共事業箇所評価基準

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 道路改築事業 (地域内・生活圏交通促進)

事業コード (R7-建-継-05)
箇所名 (秋田市山内)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題				
	道路構造上の欠陥箇所数 ・車道幅員<5.5m ・最小半径<100m ・最急勾配>4% ・冬期堆雪巾なし	3箇所以上	8	8	・最小半径39m ・最急勾配6% ・冬期堆雪巾なし 3箇所
		2箇所	5		
		1箇所	3		
		該当箇所なし	0		
	道路環境上の欠陥該当項目 ・現道の混雑度≥1.0 ・走行速度≤30km/h ・現道の事故率≥50件 ・重大交通事故が発生 ・通学路指定で歩道なし ・バス路線で歩道なし	3項目以上該当	7	3	・バス路線で歩道なし 1項目
		2項目該当	5		
		1項目該当	3		
		該当項目なし	0		
計		15	11		
緊急性	道路を取り巻く環境等				
	関連事業の有無 ・県の主要プロジェクト ・地域振興プロジェクト ・ほ場整備等の他事業	あり	5	5	第14次秋田市総合計画 第7次秋田市総合都市計画
		なし	0		
	緊急度の高い課題の有無 老朽橋、災害危険箇所、迂回路の確保 冬期通行不能区間等	あり	5	5	老朽橋 道路防災点検箇所
		なし	0		
同一路線の整備状況	整備済み	5	5	整備済み	
	未整備	0			
計		15	15		
有効性	道路の位置付け				
	地域コミュニティの確保 (公共交通、公共施設・交流施設など)	該当する	7	7	秋田中央交通バス路線
		該当しない	0		
	救急医療施設へのアクセス	アクセシビリティ向上に大きく貢献	8	8	秋田大学医学部付属病院
		アクセシビリティ向上に貢献	6		
		アクセシビリティ向上に一定の効果	4		
	地域防災計画上重要な道路	該当する	7	7	秋田市水害ハザードマップ
		該当しない	0		
社会変化による事業の必要性	必要性が高い	8	8		
	必要性が低下傾向	4			
	必要性が著しく低下	0			
計		30	30		
効率性	事業の投資効果等				
	費用便益比 (B/C)	1.0以上	5	5	1.23
		1.0未満	0		
	計画交通量	1,000台/日以上	5	5	2,500台/日
		500台/日以上1,000台/日未満	3		
		300台/日以上500台/日未満	1		
		300台/日未満	0		
	コスト削減	あり	5	5	他工区の発生土を盛土材に使用
なし		0			
事業中止による影響	既投資額の損失大	5	4		
	既投資額の部分的損失	4			
	既投資額の損失が少ない	3			
計		20	19		
熟度	事業の進捗状況				
	事業の推進	地域や市町村からの要望書等が提出されている	6	6	地域からの要望書あり
		地域や市町村からの要望書等が未提出である	0		
	事業の進捗 (事業費)	8割以上完了	7	3	20%
		5割以上完了	5		
		1割以上完了	3		
		1割未満	1		
	用地買収の進捗 (面積)	8割以上完了	7	7	100%
		5割以上完了	5		
		1割以上完了	3		
1割未満		1			
未着手		0			
計		20	16		
合計			100	91	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		